

ダイジェスト版

目指せ、公認会計士！

～会計なくして経済なし～

埼玉県立深谷商業高等学校

2015年11月2日

公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎

本日の講演内容

- 公認会計士の世界
 - ミッション・プロフェッショナル・グローバル
- 会計なくして経済なし
 - 市場経済を支える簿記会計
 - 金融・資本市場における公認会計士の役割
 - 市場経済は利益至上主義の世界か？
 - 超一流企業の経営と会計
- 監査だけでなく広く活躍する公認会計士

公認会計士の世界
3つのキーワード



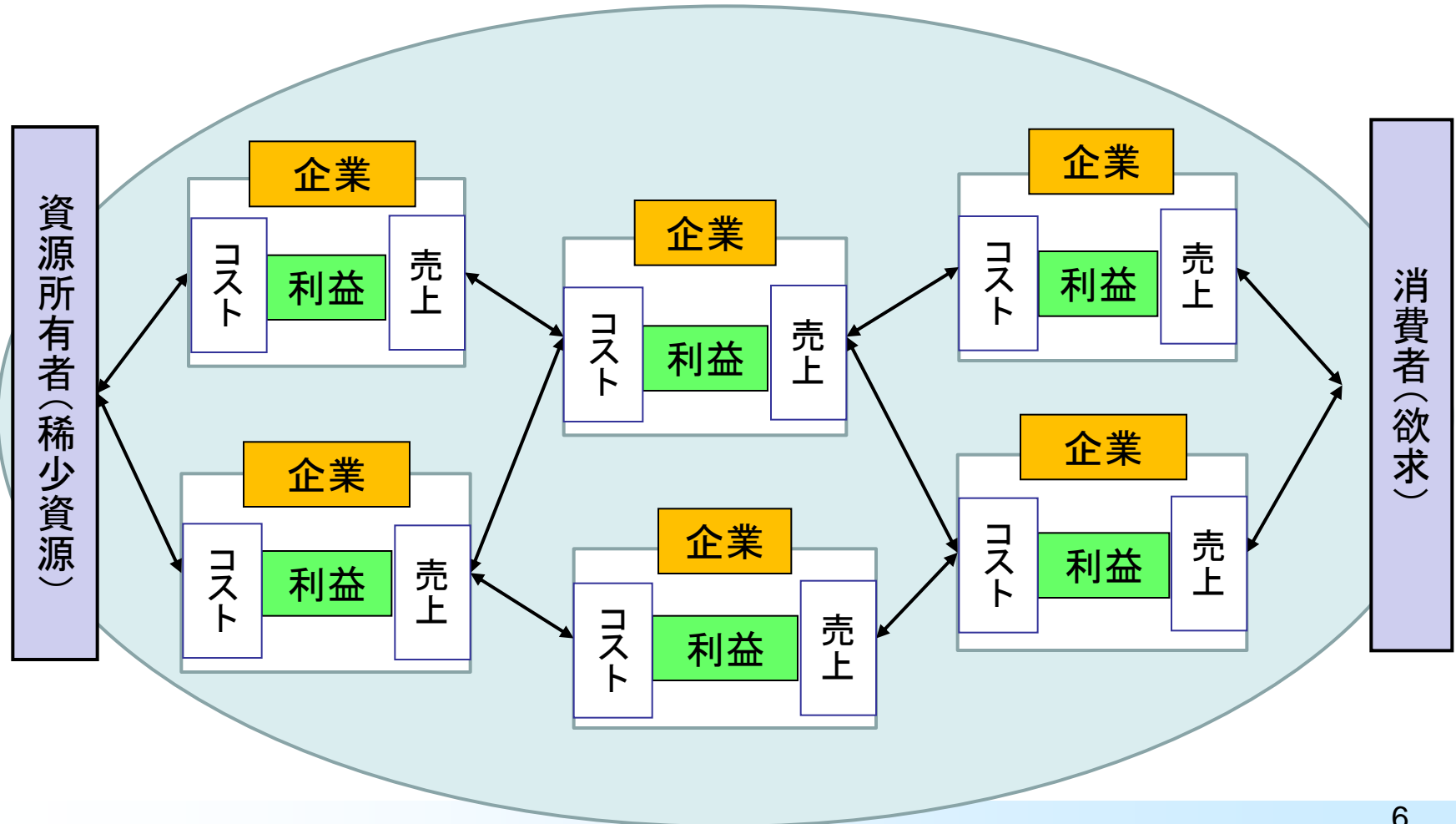
目指せ、公認会計士!

～ 公認会計士試験にチャレンジしてみませんか ～

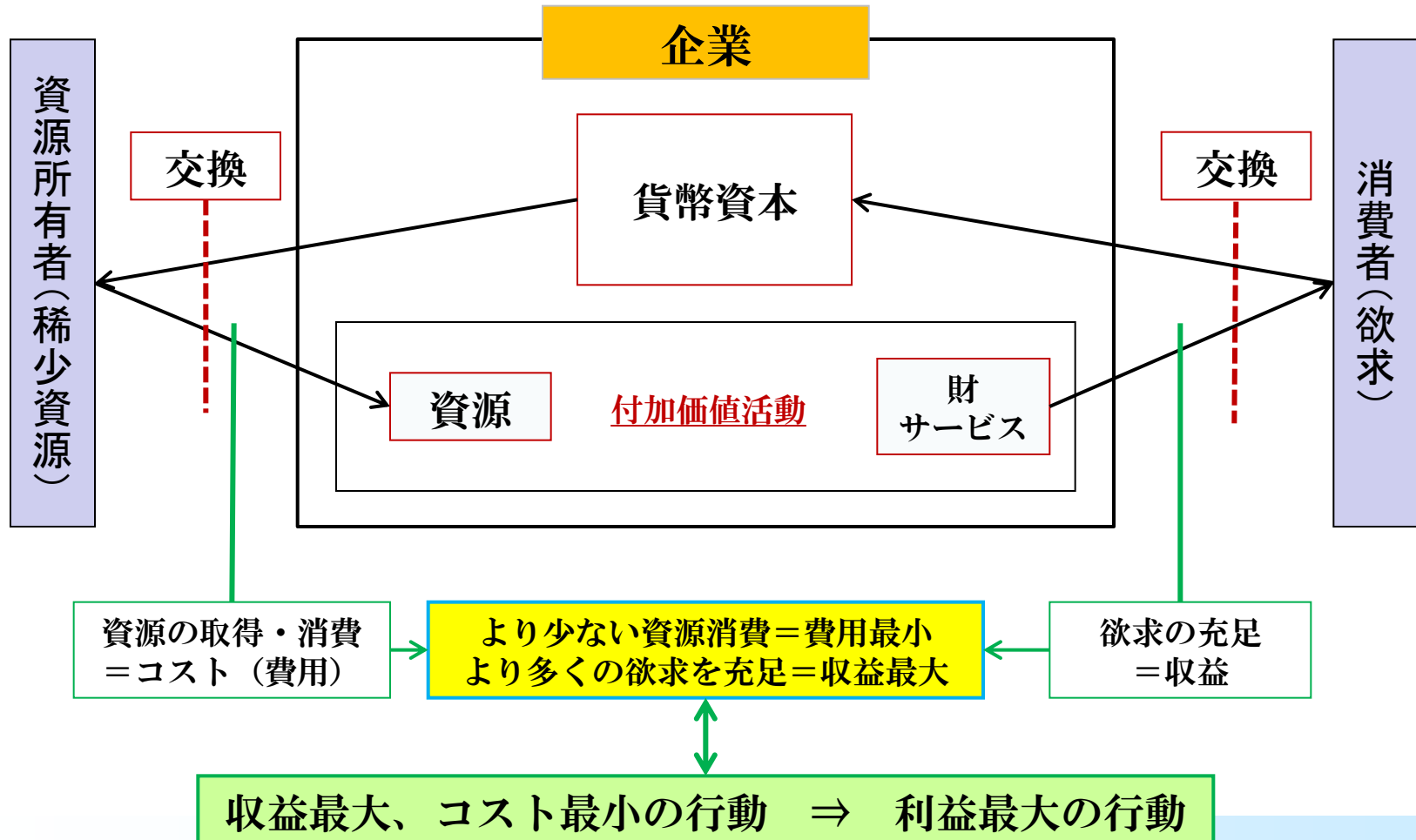
会計なくして経済なし
市場経済を支える簿記会計

会計なくして経済なし

～企業の行動原理「売上最大、コスト最小」～



簿記会計による企業活動の見える化

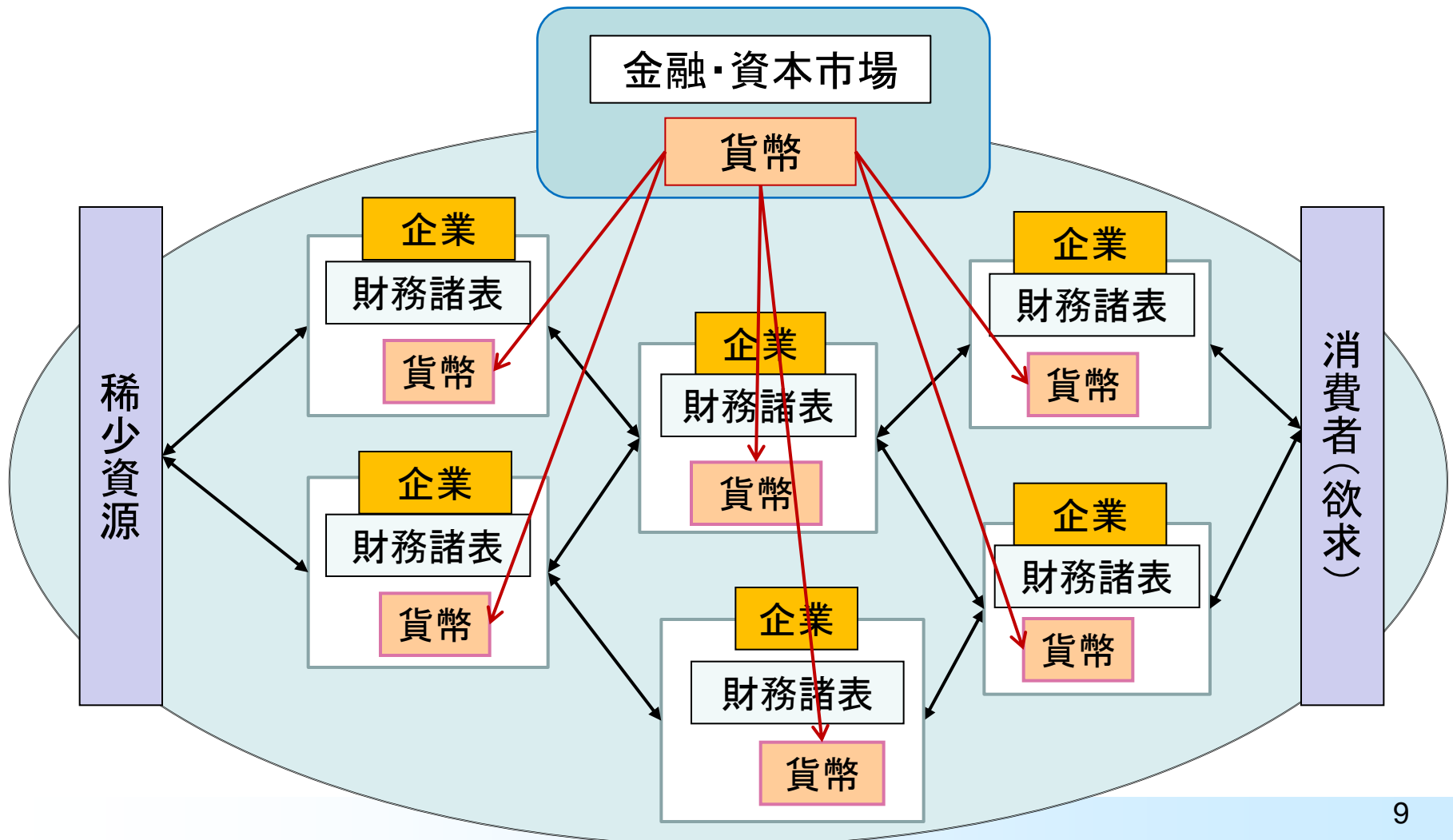


会計なくして経済なし

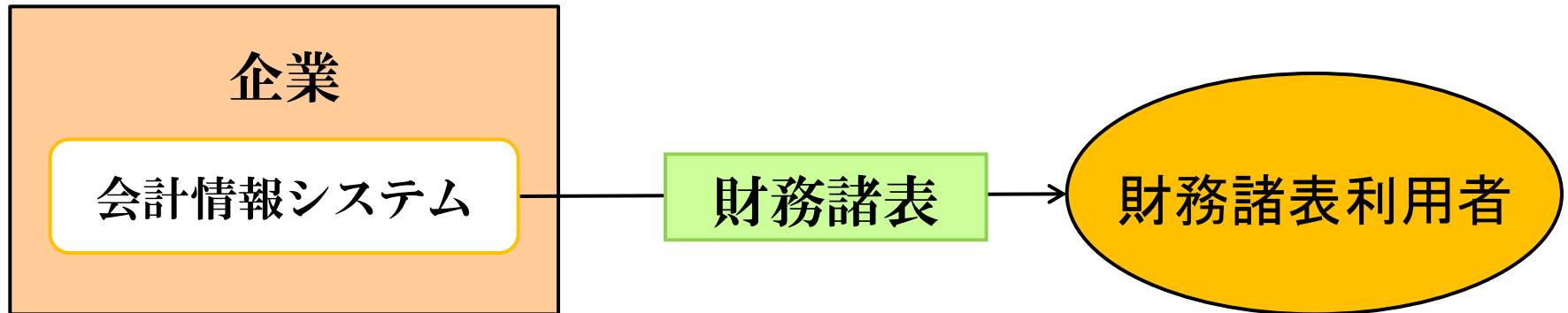
金融・資本市場における公認会計士の役割

実体経済を支える金融・資本市場

～国民経済における資金の有効かつ効率的配分～



財務情報は信頼できるか

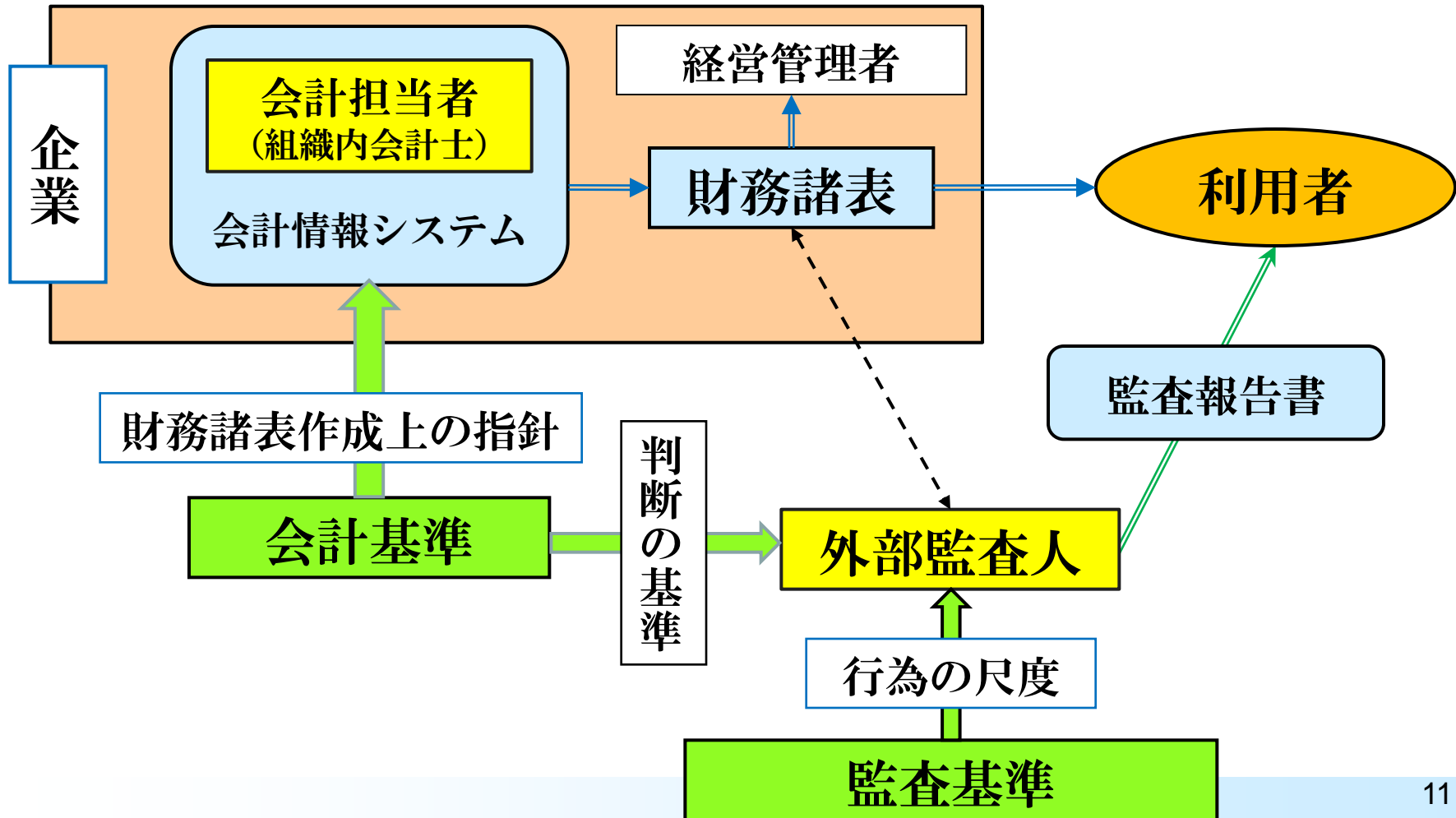


問題の所在

財務諸表の利用者（投資家）は、作成者（企業）とは異なる。そのため、財務諸表がいかに作成されているのか、更に、適正に作成されているのかどうかを知ることができない。

財務情報の信頼性確保のシステム

～公認会計士の重要性～



会計なくして経済なし
市場経済は利益至上主義の世界か？

わが国資本主義経済の原点

～渋沢栄一の理念～

- 「日本の資本主義の父」と称される渋沢栄一は、利潤追求をめざす経済行為の中にも道徳が必要なことを悟っていた。
 - 渋沢の道徳経済合一論は、古典派経済学の始祖アダム・スミスの教えに共通するものがある。渋沢は、「道徳経済合一説」と題して行った演説の中で、アダム・スミスとの関係について、次のように述べている。

渋沢栄一の理念（続き）

- ・「経済学の祖英人アダム・スミスは、グラスゴー大学の倫理哲学教授であって、同情主義（sympathy 同感）の倫理学を起こし、次いで有名なる富国論を著して、近世経済学を起こしたということである…利義合一は東西両洋通ずる不易の原理であると信じます」

（木村昌人『渋沢栄一』中公新書、1991年、9-10頁）

参考：深谷商業と渋沢栄一

- ・ 校訓 「至誠」と「士魂商才」
 - 渋沢栄一氏が1922年（大正11年）10月1日に本校に来校、「至誠」「士魂商才」の額を揮毫（きごう）。
 - 渋沢氏は1840年2月13日、現在の深谷市血洗島に生まれた。
 - ・ 第一国立銀行、東京ガス、東京海上、王子製紙、帝国ホテル、東京証券取引所など多種多様の企業の設立・経営に関わり、日本資本主義の父と呼ばれる。

会計なくして経済なし

超一流企業の経営と会計

松下の経営と会計

- 利益というものは、健全な事業活動を行っていく上で欠かすことのできない、大切なものである。
 - しかし、それ自体が究極の目的かというところ、そうではない。
- 根本は、その事業を通じて共同生活の向上を図る、というところにある。

(続く)

松下の経営と会計（続）

- その根本の使命をよりよく遂行していく上で、利益というものが大切になってくるのであり、そのこのところを取り違えてはならない。
 - そういう意味において、事業経営というものは、本質的には私の事ではなく、公事であり、企業は社会の公器なのである。

（松下幸之助 『実践経営哲学』 PHP研究所、
1978年、26頁）

京セラの経営と会計

- 資本主義社会は、利益を得るためなら何をしてもいい社会ではない。
 - それは、参加者全員が社会的正義を必ず守るという前提に築かれた社会なのであり、厳しいモラルがあつてこそ初めて、正常に機能するシステムなのである。
 - 社会正義が尊重され透明性の高い社会が築かれてこそ、市場経済は社会の発展に貢献できるようになる。

(続く)

京セラの経営と会計（続）

- そのためには、まず資本主義経済を支えている経営者が高い倫理観を持ち、すべての企業がフェアで公明正大な経営を実践していく必要がある。
 - ところが残念なことに人間はつねに完全ではない。いくら立派なことを言っている、誘惑にかられ、魔が差してしまうかもしれない。不正を犯してしまうかもしれないのである。このことは不祥事を起こした人々を調べればよくわかる。誰も最初から不正や犯罪を犯そうと思っていなかったわけではない。

（続く）

京セラの経営と会計（続）

- この意味で、私は会計の果たす役割はきわめて大きいと考えている。
 - なぜなら、会計において万全を期した管理システムが構築されていれば、人をして不正を起こさせず、また万が一不正が発生しても、それを最小限のレベルにとどめることができるからである。

（稲盛和夫『実学—経営と会計』
日本経済新聞社、1998年、
161-162頁）

活躍する公認会計士

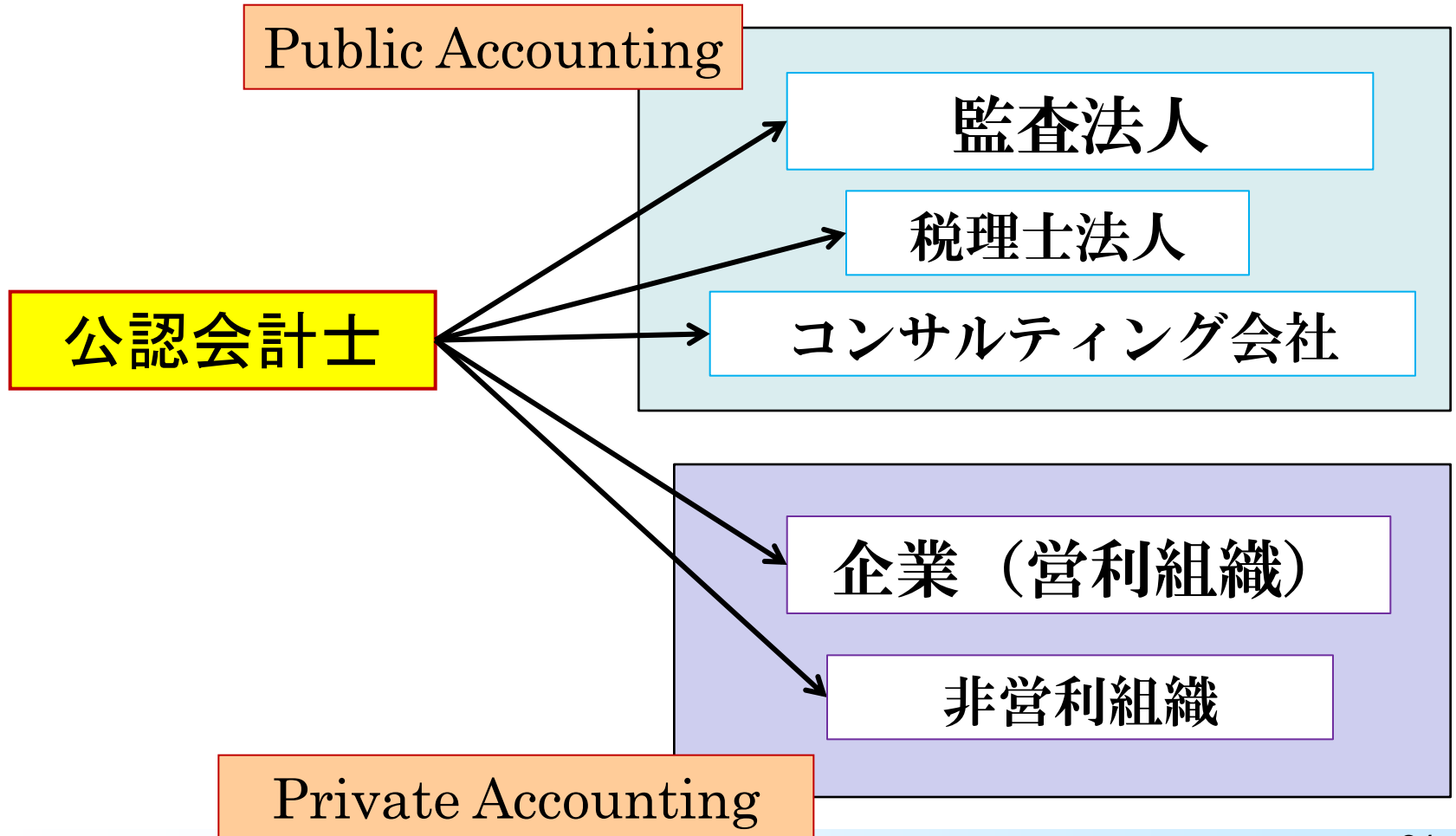
監査だけでなく経済社会で幅広く活躍



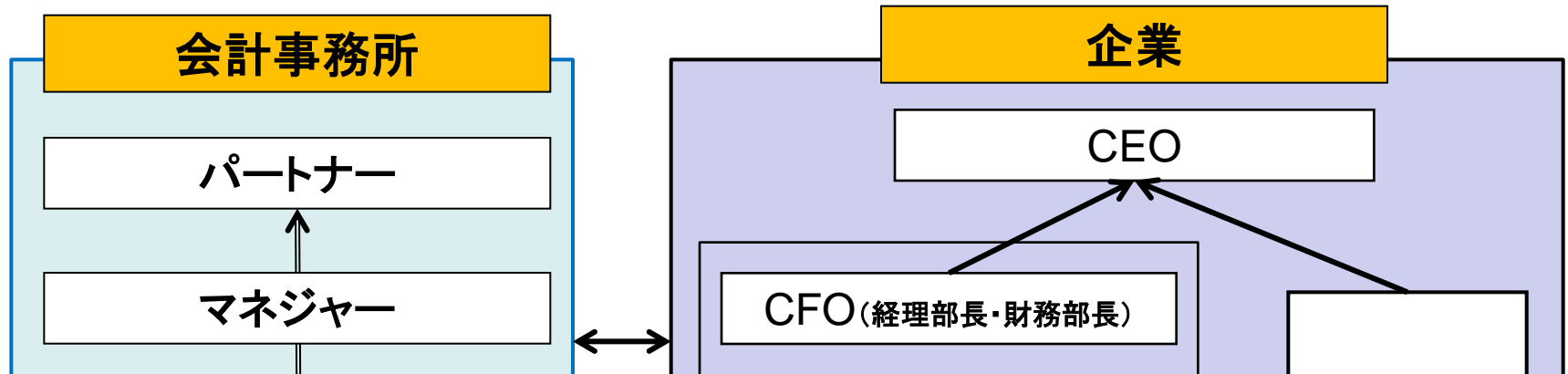
公認会計士・試験合格者の活躍フィールド

金 融 庁
日本公認会計士協会

公認会計士の活躍領域



会計専門家の活躍 ～アメリカのケース～



会計はすべての経営管理職能に関連し、広範な知識を獲得できるから、会計主任にもなると、一般的なマネジメント・スキルを身につけていると評価され、製造部門やマーケティング部門の管理者に選任されることもある。

多くのCEOは、そのキャリアを、マーケティングや製造などではなく、会計のポジションからスタートしていることを多数の調査が明らかにしている。

(Horngren & Sundem. Introduction to Financial Accounting.)

TPP (環太平洋パートナーシップ)



TPP協定

- TPP協定とは、アジア太平洋地域において、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引、国有企業の規律など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定です。
 - 2015年10月米国アトランタで開催されたTPP閣僚会合において大筋合意に至りました。

(内閣官房Web—TPP政府対策本部より)

公認会計士は、皆さんの未来の
魅力ある選択肢の1つです。

自分が向かうべき将来に向かって
しっかりと地固めをして
悔いのない高校生活を送ってください。

公認会計士・監査審査会 廣本敏郎